

3. 重要な植物と生育環境

(1) 重要な植物と生育環境の選定基準及び価値区分

宗像市環境調査における注目希少種と各種資料における選定状況等を下表に示す。

また、これらの植物の各調査地点における出現状況を別表に示す。

表 4-2 宗像環境調査 注目希少種 (その1)

国レベル希少種		県レベル希少種		市内暫定希少種	(情報不足)希少種
コウボウムギ群 D	さつき松原 B	マルバニッケイ群 II	ADH	アツバスマレ	オオヒナノウスツボ
ムクロジ群 B	城山 B	カシワ	1B	ウマノスズクサ	オリヅルシダ
ウラジロガシ群 AE	城山 B	クワノハエノキ	II	オギノツメ	キクタニギク
クロマツ群 F	さつき松原 C	シマモクセイ	準絶滅危惧	オモダカ	シロバナハマカンギク
スダジイ群 E	弘大寺 B	タチバナ	II	カツガユ	ツユクサシュスラン
タブノキ群 AH	沖ノ島 B	トキワガキ	1B	カワミドリ	ハチジョウシュスラン
イヌマキ群 AEH	鐘崎 B	ヒゼンマユミ	II	サワオグルマ	ハチジョウススキ
ハチジョウススキ群 DH	沖ノ島 B	アサザ	1A	シイモチ	ヘラノキ
ハマビワ群 DH	鐘崎・沖ノ島 A	アゼオトギリ	1A	ツルカノコソウ	
ハマヒサカキ群 DH	大島 A	イガホオズキ	1B	ツルマメ	
城山の自然林 A	天然記念物 A	イトモ	1B	ナンゴクウラシマソウ	
沖ノ島の自然林 A	天然記念物 A	イヌセンブリ	1B	ノヂシャ	
マルバニッケイ II	大島	イヌノフグリ	1B	ハンゲシヨウ	
タチバナ II		イワレンゲ	1A	ヒトリシズカ	
ヒゼンマユミ 1B		エビネ	II	ヘラオモダカ	
オオカナメモチ 1A		オオタニワタリ	1B	ホタルカズラ	
ニッケイ 準絶滅		オニビシ	1B	ミズスギ	
アキノハハコグサ 1B		カワラサイコ	1B	ミズワラビ	
アサザ II	八所宮	キエビネ	1A	メビシ	
アゼオトギリ 1B		キンラン	II	アケボノソウ	
イトモ II		クロムヨウラン	1A		
イヌセンブリ II		ゲンカイヤブマオ	1B		
イヌノフグリ II		コガマ	1B		
イワレンゲ 1B	沖ノ島	コケミズ	1A		
エビネ II	四塚山・安の倉	コバノイラクサ	1B		
オオタニワタリ 1B	沖ノ島	サンショウモ	1A		
カキツバタ II		シソクサ	1B		
カノコユリ 1B		タンシロラン	II		
キエビネ 1B		ツルギキョウ	1A		
キノクニスゲ II	沖ノ島・大島他	トウオオバコ	II		

表 4-2 宗像環境調査 注目希少種（その2）

国レベル希少種	県レベル希少種	備考
キンラン II	ハイチゴザサ II	群落詳細分析評価基準
サンショウモ II	ハナカズラ 1A	A 原生林もしくはそれに近い自然林
タシロラン II 八所宮・大穂谷	ハマオモト 1B	B 国内に若干分布するが極めて稀な植物群落または個体群
タチハコベ II	ハマガヤ II	C 希少種ではないが南限、北限、隔離分布等分布限界となる群落又は個体群
ツルギキョウ II 四塚山	フウラン 1A	
ハナカズラ 1B	フナバラソウ II	D 砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地にある植物群落または個体群
フウラン II 沖ノ島・八所宮	ボウラン II	
ミズマツバ II	ホザキケマン II	E 郷土を代表する植物群落で群落の特徴が典型的なもの
ヤマホオズキ 1B	マルバノホロシ 1A	F 過去は人工的に植栽されていても現在伐採などの手が入っていないもの
ミゾコウジュ 準絶滅	マルバハダカホウズキ 1A	
カワヂシャ 準絶滅	ミヤコジマツツラフジ II	G 乱獲其の他人為的な影響によって極端に少なくなる恐れのある植物群落または個体群
ボウラン 準絶滅	ヤシャブシ 1A	
	ヤマホウズキ 1A	H その他学術上重要な植物群落または個体群
	ヨロイグサ II	
	リンドウ II	環境庁特定総合植物群落評価ランク
	アオイゴケ 準絶滅危惧	A 優れる
	カワヂシャ 準絶滅危惧	B やや優れる
	ダルマガク 準絶滅危惧	C 普通
	キノクニスゲ 準絶滅危惧	
	アキザキヤツシロラン 情報不足	参考文献
	アキノハハコグサ 情報不足	環境庁レッドデータブック
	イヌナズナ 情報不足	福岡県レッドデータブック2001
	ウマスゲ 情報不足	
	カノコユリ 情報不足	
	クサスギカズラ 情報不足	
	シタキソウ 情報不足	
	スズメハコベ 情報不足	
	スナビキソウ 情報不足	
	ヤマトキソウ 情報不足	

表4-3 宗像環境調査 注目希少種等

No.	種名	環境省RDB	福岡県RDB	有識者意見
1	ミズスギ			市内暫定稀少種
2	ミズワラビ			市内暫定稀少種
3	オオタニワタリ	絶滅危惧IB類	絶滅危惧IB類	
4	オリヅルシダ			(情報不足)稀少種
5	サンショウモ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IA類	
6	ヤシャブシ		絶滅危惧IA類	
7	カシワ		絶滅危惧IB類	
8	クワノハエノキ		絶滅危惧II類	
9	カカツガユ			市内暫定稀少種
10	ゲンカイヤブマオ		絶滅危惧IB類	
11	コケミズ		絶滅危惧IA類	
12	コバノイラクサ		絶滅危惧IB類	
13	タチハコベ	絶滅危惧II類		
14	マルバニッケイ	準絶滅危惧	絶滅危惧II類	
15	ニッケイ	準絶滅危惧		
16	ハナカズラ	絶滅危惧IB類	絶滅危惧IA類	
17	ミヤコジマツツラフジ		絶滅危惧II類	
18	ハンゲショウ			市内暫定稀少種
19	ヒトリシズカ			市内暫定稀少種
20	ウマノスズクサ			市内暫定稀少種
21	アゼオトギリ	絶滅危惧IB類	絶滅危惧IA類	
22	ホザキキケマン		絶滅危惧II類	
23	イヌナズナ		情報不足	
24	イワレンゲ	絶滅危惧IB類	絶滅危惧IA類	
25	オオカナメモチ	絶滅危惧IA類		
26	カワラサイコ		絶滅危惧IB類	
27	ツルマメ			市内暫定稀少種
28	タチバナ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類	
29	シイモチ			市内暫定稀少種
30	ヒゼンマユミ	絶滅危惧IB類	絶滅危惧II類	
31	ヘラノキ			(情報不足)稀少種
32	アツバスマレ			市内暫定稀少種
33	ミズマツバ	絶滅危惧II類		
34	メビシ			市内暫定稀少種
35	オニビシ		絶滅危惧IB類	
36	ヨロイグサ		絶滅危惧II類	
37	トキワガキ		絶滅危惧IB類	
38	シマモクセイ		準絶滅危惧	
39	リンドウ		絶滅危惧II類	
40	アケボノソウ			市内暫定稀少種
41	イヌセンブリ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IB類	
42	アサザ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IA類	
43	シタキソウ		情報不足	
44	フナバラソウ		絶滅危惧II類	
45	アオイゴケ		準絶滅危惧	
46	スナビキソウ		情報不足	
47	ホタルカズラ			市内暫定稀少種
48	カワミドリ			市内暫定稀少種
49	ミゾコウジュ	準絶滅危惧		
50	イガホオズキ		絶滅危惧IB類	
51	ヤマホオズキ	絶滅危惧IB類	絶滅危惧IA類	
52	マルバノホロシ		絶滅危惧IA類	
53	マルバハダカホオズキ		絶滅危惧IA類	
54	シソクサ		絶滅危惧IB類	
55	スズメハコベ		情報不足	
56	オオヒナノウスツボ			(情報不足)稀少種
57	イヌノフグリ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IB類	
58	カワヂシャ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
59	オギノツメ			市内暫定稀少種
60	トウオオバコ		絶滅危惧II類	
61	ツルカノコソウ			市内暫定稀少種
62	ノヂシャ			市内暫定稀少種

表4-3 宗像環境調査 注目希少種等

No.	種名	環境省RDB	福岡県RDB	有識者意見
63	ツルギキョウ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IA類	
64	ダルマガク		準絶滅危惧	
65	シロバナハマカンギク			
66	キクタニギク			(情報不足)稀少種
67	アキノハハコグサ	絶滅危惧IB類	情報不足	
68	サウオグルマ			市内暫定稀少種
69	ヘラオモダカ			市内暫定稀少種
70	オモダカ			市内暫定稀少種
71	イトモ	絶滅危惧II類	絶滅危惧IB類	
72	クサスギカズラ		情報不足	
73	カノコユリ	絶滅危惧IB類	情報不足	
74	ハマオモト		絶滅危惧IB類	
75	カキツバタ	絶滅危惧II類		
76	ハイチゴザサ		絶滅危惧II類	
77	ハマガヤ		絶滅危惧II類	
78	ハチジョウススキ			(情報不足)稀少種
79	ナンゴクウラシマソウ			市内暫定稀少種
80	コガマ		絶滅危惧IB類	
81	ウマスゲ		情報不足	
82	キノクニスゲ	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	
83	エビネ	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類	
84	キエビネ	絶滅危惧IB類	絶滅危惧IA類	
85	キンラン	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類	
86	タシロラン	準絶滅危惧	絶滅危惧II類	
87	アキザキヤツシロラン		情報不足	
88	ツユクサシュスラン			(情報不足)稀少種
89	ハチジョウシュスラン			(情報不足)稀少種
90	クロムヨウラン		絶滅危惧IA類	
91	ボウラン	準絶滅危惧	絶滅危惧II類	
92	フウラン	絶滅危惧II類	絶滅危惧IA類	
93	ヤマトキソウ		情報不足	
計	93種	30	59	27

(2) 宗像市の重要な植物と生育環境

宗像の希少な植物の確認状況より、これら植物の生育環境として特に重要と考えられるものについて以下に示す5つの観点より総合評価を行い、3つのランク(A:優れる、B:やや優れる、C:やや普通)に区分した。

<総合評価の基準項目>

1. 水資源保全機能
2. 種分布の自然度
3. 環境学習、森林レクリエーション等
4. 景観度
5. 学術上の重要性

評価の結果を“植物評価図”に示す。

図4-2 植物評価図

